

第43回各務原市地域公共交通会議 議事録

日 時	令和6年11月6日(水) 14:00～
場 所	各務原市産業文化センター 8階第2特別会議室
委 員 (敬称略)	<p><b>【出席】</b>(敬称略)</p> <p>豊田 智隆 (東海旅客鉄道株式会社東海鉄道事業本部管理部企画課担当課長)</p> <p>高井 勇輔 (名古屋鉄道株式会社地域連携部交通サービス担当課長)</p> <p>宮部 敬輔 (岐阜乗合自動車株式会社営業管理部課長)</p> <p>平塚 康男 (名鉄バス株式会社運輸本部交通企画官)</p> <p>木村 治史 ((公社)岐阜県バス協会専務理事)(代理:中島 喜久夫)</p> <p>石井 靖治 (岐阜交通東部株式会社代表取締役)</p> <p>山田 健太郎 (株式会社日本タクシー代表取締役社長)</p> <p>平下 和重 (岐阜県タクシー協会岐阜支部支部長)</p> <p>正村 明 (岐阜乗合自動車労働組合執行委員長)</p> <p>江口 克己 (市自治会連合会副会長)</p> <p>下平 真一郎 (中部運輸局岐阜運輸支局首席運輸企画専門官)</p> <p>児玉 忠哲 (岐阜土木事務所施設管理課長)</p> <p>中村 俊夫 (各務原市都市建設部長)</p> <p>今津 篤 (各務原警察署交通課長)</p> <p>城戸脇 研一 (岐阜県都市建築部公共交通課長)(代理:棚橋 典広)</p> <p>岩田 紀正 (各務原市議会経済教育常任委員長)</p> <p>各務 英雄 (各務原商工会議所専務理事)</p> <p>杉山 仁 (株式会社アイシンチョイソコサービス企画室室長)</p> <p>川端 光昭 (岐阜工業高等専門学校環境都市工学科准教授)</p> <p>今道 雄介 (各務原市副市長)</p> <p><b>【事務局】</b> 各務原市 産業活力部商工振興課</p>

- ・議事
  - ① ふれあいバスの改正
- ・報告
  - ① 「緑苑八木山線」等の見直しについて
  - ② チョイソコかかみがはらの運行事業者について
- ・その他

■議事

- ・議事① ふれあいバスの改正

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p>&lt;岐阜工業高等専門学校 川端委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの改正にあたり、住民への情報提供や説明はどのように行っているか。</li> <li>・東西線の利用者数減少による減便について、ダイヤの改正がある中で便あたりの利用人数を示してもらえるとよい。</li> </ul>	<p>&lt;事務局&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、住民懇談会で事前に改正の案を説明している。バス利用者へは、バス車内や停留所での掲示で周知し、一部関係自治会への文書回覧を実施している。今後、市のウェブサイトや広報紙への掲載をしていく。</li> <li>・後ほどデータを確認する。</li> </ul>

■報告

- ・報告① 「緑苑八木山線」等の見直しについて

※委員からの質問や意見は、なし

- ・報告② チョイソコかかみがはらの運行事業者について

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p>&lt;岐阜工業高等専門学校 川端委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エリア担当制となった経緯は。また、担当の決め方はどのように行ったか。</li> </ul>	<p>&lt;事務局&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運行事業者と話し合い、運転士の雇用の観点から輪番制で運行しない期間が空くよりも連続して運行ができる方が望ましいという意見があったため変更した。</li> <li>・チョイソコかかみがはらの運行事業者は、公募して1エリア1社ずつの応募があったため、それぞれ希望のエリアを担当していただくということになった。</li> </ul>

■その他

公共交通ってイイネ！中高生フォトコンテスト（中部運輸局岐阜運輸支局）  
秋のさわやかウォーキング（東海旅客鉄道株式会社）

## ■総括

### 川端委員 総括・指摘事項

- ・ふれあいバスは、停留所の新設や増便など使いやすくなるよう考えられているため、利用者へのフォローをしっかりとってほしい。
- ・規制緩和が進む中で、ライドシェアの話も実際に動いてきている。本市においてはメインの公共交通としては利用できないという方針だとは思いますが、徐々に導入が進んできているため、公共交通を補完するようなものとしてどのように位置づけていけばいいか改めて今後この場で議論をしたい。
- ・自動運転や道路交通法の改正などの動きについても会議の場で情報共有できるようなことがあれば非常にありがたい。
- ・支局から紹介があったフォトコンテストについて、中高生など若者に公共交通に興味を持ってもらうことは非常に重要だと考えているため、良い取り組みだと思う。